



平成30年8月1日

各 位

会 社 名 昭和ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長兼最高経営責任者
此下 竜矢
(コード番号 5103 東証第二部)
問合せ先 取締役最高執行責任者兼
最高財務責任者 庄司 友彦
(TEL. 04-7131-0181)

(経過報告) 連結子会社Group Lease PCLが2017年財務諸表の訂正を 公表したに関するお知らせ

平成30年6月19日付「(経過報告) タイ証券取引委員会から要請を受けている修正財務諸表、修正内容の説明及び特別監査の進捗について」にてご報告させていただいておりました修正財務諸表等につきまして、当社連結子会社Group Lease PCL (以下、「GL」といいます。) が、平成30年7月31日に「2017年財務諸表の訂正に関するお知らせ」を公表いたしましたので、以下の通りお知らせいたします。

記

1. 連結子会社Group Lease PCが公表した内容

GLが公表した内容は以下の通りとなります。

(以下、翻訳文)

2017年財務諸表の訂正に関するお知らせ

この書面は、上に記載の、Securities and Exchange Commission (以下、「SEC」といいます。) がいくつかの債権について疑問を提起しており、Group Lease Public Company Limited (以下、「当社」といいます。) に対し、財務諸表・フォーム56-1、および56-2の訂正を求めた書面に関するものです。

SECからの文書を受け取って以来、当社は社内調査により当該取引の再検証を行い、また外部の会計専門家並びに法律専門家との協力により、取引内容および取引先の調査を行って参りました。また2018年2月には、新たに外部より参加した独立監査委員が取締役会および監査委員会に加わっております。すでにGLは、2017年9月30日の四半期決算において、貸付金残高総額に対して引当金を計上し、またこれらの貸付に対する利息収入の計上についても停止しております。この処置により、当社は当該取引において想定しうる最大限の損失を予めすでに経費化し、計上が完了していることとなります。

また、会計の専門家である監査法人から、懸案債権に関する不適切な点や、GLの財務諸表の表記に関する不適正な点は発見することができなかったとの報告を受領しております。その一方、GLの監査委員会は検討の上、SECからの要求に従い、GLの事業及びGLの株主並びにステークホルダーに不利益が生じることを避けるために、決算を訂正することといたしました。

当社はSEC通達並びに会計基準に則り2017年度財務諸表を再発行いたしました。すでにお知らせしました財務諸表に比較すると、2017年度再発行財務諸表では純利益が215.50百万パーツ増(純損失の減少)、-1,823百万パーツから-1,607百万パーツになりました。2017年末時点の自己資本合計は、すでにお知らせいたしました2017年度財務諸表と比較し変動はありませんでした。

すでにお知らせしております2017年財務諸表と比較し、再発行版においては以下の訂正がありました。

- ・懸案債権に関連する金利収入はすべて計上しないことにしました結果、2016年および2017年期の金利収入は減少、またこれまでに受領した利払金は元金の返済に計上されています。その結果、金利収入は2016年では233.78百万パーツ、2017年では177,25百万パーツの減少となりました。

	Consolidated financial statements			Consolidated financial statements		
	2017	2017	Change	2016	2016	Change
	(Restated)	(Previously disclosed)		(Restated)	(Previously disclosed)	
Interest on loan receivables	201.71	378.96	(177.25)	251.08	484.86	(233.78)

- ・当社がこれらの貸付に関する収入を除去し、受取金利を元金返済として計上したことから、2017年12月31日時点の元金残高は減少しました。すでに（2017年第3四半期（訳者注））当社が貸付および未収金利に対し元金残高100%の引当金（費用）を計上しているため、元金残高が減少した結果として、懸案債権、貸付および未収元金に対する未収金利への引当金（費用）も減少しました。懸案債権、貸付および未収金利に対する引当金は392.75百万パーツ減少となりました。

	Consolidated financial statements			Consolidated financial statements		
	2017	2017	Change	2016	2016	Change
	(Restated)	(Previously disclosed)		(Restated)	(Previously disclosed)	
Expense allowance on disputed loans	603.18	1,952.56	(1,349.39)	-	-	-
Expense allowance on loan and interest receivables	956.64	-	956.64	-	-	-
Total	1,559.82	1,952.56	(392.75)	-	-	-

総括すると、収入の減少は経費（引当金）の減少によってほぼ相殺されており、現時点での財務状況はすでにお知らせしたものと変化はなく、結果として純利益がどの年度で計上されるかの違いのみに収斂しております。純利益は、2016年度は233.78百万パーツの減少、2017年度は215.50百万パーツの改善となっています。自己資本は、2016年度には236.80百万パーツの減少となりましたが、2017年度においてはすでにお知らせしたものと同額となっております。（追加の損失はなかったことを表しています（訳者注））

	Consolidated financial statements			Consolidated financial statements		
	2017	2017	Change	2016	2016	Change
	(Restated)	(Previously disclosed)		(Restated)	(Previously disclosed)	
Profit (loss) for the year	(1,607.05)	(1,822.55)	215.50	829.04	1,062.82	(233.78)

	Consolidated financial statements			Consolidated financial statements		
	2017	2017	Change	2016	2016	Change
	(Restated)	(Previously disclosed)		(Restated)	(Previously disclosed)	
Total shareholders' equity	5,725.62	5,725.62	(0.00)	8,264	8,501	(236.80)

上記を含め、当社は財務諸表を修正し、当文書に添付する形で開示しております。

今後、当社は、貸付残高に関しましては、当社は残高の回収に向けて最大限の努力を払ってまいります。

2. 今後の見通し

平成30年7月30日付けGLが公表した内容は上記に記載の通りとなりますが、当社の見解と今後の見通しにつきましては、本日付「(経過報告) 連結子会社Group Lease PCLにおける2017年12月期の決算訂正、及び当社の対応に関するお知らせ」内の「2. 今後の見通し」をご参照ください。

以上